



平成24年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年6月30日

上場会社名 株式会社ポイント 上場取引所 東
 コード番号 2685 URL http://www.point.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 福田 三千男
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 松田 毅 (TEL) (03)3243-6011
 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月15日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年2月期第1四半期の連結業績（平成23年3月1日～平成23年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年2月期第1四半期	24,995	7.8	2,219	△37.6	2,269	△37.2	1,068	△42.1
23年2月期第1四半期	23,186	6.9	3,553	△9.7	3,616	△9.1	1,845	△21.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年2月期第1四半期	44.98	—
23年2月期第1四半期	75.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年2月期第1四半期	55,154	36,661	66.0	1,532.80
23年2月期	62,089	37,330	59.8	1,561.71

(参考) 自己資本 24年2月期第1四半期 36,422百万円 23年2月期 37,109百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年2月期	—	50.00	—	70.00	120.00
24年2月期	—	—	—	—	—
24年2月期(予想)	—	50.00	—	70.00	120.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有

3. 平成24年2月期の連結業績予想（平成23年3月1日～平成24年2月29日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	51,500	8.3	4,300	△28.6	4,300	△29.6	2,000	△37.0	84.17
通 期	116,000	9.5	14,000	△8.7	14,100	△9.1	7,500	△10.7	315.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

4. その他（詳細は、【添付資料】3ページ「2. その他の情報」をご覧ください。）

- (1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

- (4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年2月期1Q	24,400,000株	23年2月期	24,400,000株
② 期末自己株式数	24年2月期1Q	637,885株	23年2月期	637,885株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年2月期1Q	23,762,115株	23年2月期1Q	24,332,116株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

「参考」個別業績予想

平成24年2月期の個別業績予想(平成23年3月1日～平成24年2月29日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	50,400	8.7	4,100	△28.2	4,200	△28.6	1,900	△38.1	79.96
通期	112,000	8.5	13,400	△8.1	13,600	△8.6	7,200	△10.4	303.00

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. その他の情報.....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要.....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要.....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書.....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書.....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記.....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記.....	8
4. 補足情報.....	9
(1) 店舗業態・地域別出退店の状況.....	9
(2) ブランド・地域別売上高の状況.....	10
(3) 商品部門別売上高の状況.....	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間（平成23年3月1日から平成23年5月31日まで）におけるわが国経済は、3月11日に発生した震災の影響により、生産や輸出が大きく低下し、国内の民間需要も弱い動きとなりました。その後、供給面の制約は和らぎ始めましたが、国内の電力需給の推移、海外では欧州のソブリン問題の帰趨や米国経済の動き等の不確定な要因が多く、景気の下振れリスクが強く意識される状況で推移しました。

当社グループの属するカジュアルウェア市場におきましては、厳しい雇用・所得環境に加え、ガソリンの不足や先行きの不透明感から、消費は低迷状況が続きました。

このような環境のもと、国内既存店売上高は前年同期比93.2%となりましたが、連結売上高は、新店の寄与や海外の売上の増加等により前年同期比7.8%増となりました。

国内のブランド別の売上では、新しいブランドとしては「コレクトポイント」と「レビピアルマリオ」が、既存ブランドとしては「レイジブルー」と「ヘザー」が高い伸び率で進捗いたしました。

また、新規ブランドとして、「ナッシュダレック」を3月にスタートいたしました。

国内の店舗展開につきましては、引き続き積極的に出退店を行い、当第1四半期連結累計期間末時点での国内店舗数は、68店舗の出店、7店舗の退店の結果、767店舗（内Eコマースサイト31店舗）となりました。

海外の店舗展開につきましては、台湾で1店舗の出店、2店舗の退店、上海で1店舗の出店の結果、当第1四半期連結累計期間末時点での海外店舗数は、台湾21店舗、香港13店舗、上海7店舗の計41店舗となりました。

収益面では、震災の影響に対応した広範なセール展開の動きの結果、売上総利益率は61.9%（前年同期比1.3ポイント減）となりました。

販売費及び一般管理費は、積極的な店舗展開に伴う人件費の増加や広告宣伝の拡充による費用増を主因に、前年同期比19.5%増加したことから、販管費率は53.1%（前年同期比5.2ポイント増）、営業利益率は8.9%（前年同期比6.4ポイント減）となりました。

また、特別損失として、固定資産除却損5百万円、店舗の賃借契約解約に伴う損失20百万円、減損損失19百万円、震災による損失として4億35百万円など計4億80百万円を計上しております。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は249億95百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は22億19百万円（前年同期比37.6%減）、経常利益は22億69百万円（前年同期比37.2%減）、四半期純利益は10億68百万円（前年同期比42.1%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、69億35百万円減少して551億54百万円となりました。これは主に、有価証券（コマーシャルペーパーと短期国債）が89億98百万円減少したこと等によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べて、62億65百万円減少して184億92百万円となりました。これは主に、買掛金が39億72百万円、未払法人税等が23億82百万円それぞれ減少したこと等によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べて、6億69百万円減少して、366億61百万円となりました。これは主に、株主資本が5億94百万円減少したこと等によるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて、105億45百万円減少して156億5百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、61億92百万円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が17億88百万円あった一方、売上債権が18億98百万円増加したこと、仕入債務が39億76百万円減少したこと及び法人税等の支払いが29億93百万円あったこと等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、27億63百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出が24億92百万円あったこと等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、16億3百万円となりました。これは配当金の支払があったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年2月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、平成23年4月4日に公表いたしました「平成23年2月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」にて未定とさせていただいておりましたが、第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想、並びに配当予想を新たに記載しております。

なお、詳細につきましては、本日別途公表しております「平成24年2月期の業績予想及び配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算出する方法によっております。

経過勘定項目の算定方法

一部の経過勘定項目については、投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で、簡便な方法を採用しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

（表示方法の変更）

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第1四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,677	13,164
売掛金	6,374	4,476
有価証券	3,998	12,997
商品	6,969	6,480
その他	1,471	1,497
貸倒引当金	△54	△37
流動資産合計	30,438	38,579
固定資産		
有形固定資産	10,009	8,677
無形固定資産	788	783
投資その他の資産		
敷金及び保証金	10,653	10,450
その他	3,634	3,962
貸倒引当金	△370	△364
投資その他の資産合計	13,917	14,048
固定資産合計	24,716	23,510
資産合計	55,154	62,089
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,819	14,792
未払法人税等	796	3,179
賞与引当金	1,200	1,002
役員賞与引当金	136	—
その他	5,388	4,901
流動負債合計	18,342	23,877
固定負債		
引当金	101	818
その他	48	63
固定負債合計	149	881
負債合計	18,492	24,758

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成23年5月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成23年2月28日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,660	2,660
資本剰余金	2,517	2,517
利益剰余金	33,607	34,201
自己株式	△2,241	△2,241
株主資本合計	36,543	37,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	16	121
為替換算調整勘定	△138	△150
評価・換算差額等合計	△121	△28
新株予約権	46	46
少数株主持分	192	174
純資産合計	36,661	37,330
負債純資産合計	55,154	62,089

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
売上高	23,186	24,995
売上原価	8,535	9,514
売上総利益	14,651	15,480
販売費及び一般管理費	11,098	13,261
営業利益	3,553	2,219
営業外収益		
受取配当金	22	22
その他	41	28
営業外収益合計	64	50
営業外費用		
為替差損	0	0
その他	0	0
営業外費用合計	1	0
経常利益	3,616	2,269
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12	—
特別利益合計	12	—
特別損失		
固定資産除却損	9	5
賃貸借契約解約損	7	20
減損損失	112	19
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	393	—
災害による損失	—	435
その他	6	—
特別損失合計	528	480
税金等調整前四半期純利益	3,099	1,788
法人税、住民税及び事業税	1,429	679
法人税等調整額	△182	26
法人税等合計	1,246	706
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,081
少数株主利益	7	12
四半期純利益	1,845	1,068

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,099	1,788
減価償却費	475	757
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	393	—
減損損失	112	19
災害損失	—	435
賞与引当金の増減額（△は減少）	△621	△382
売上債権の増減額（△は増加）	△1,825	△1,898
たな卸資産の増減額（△は増加）	△1,118	△492
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,707	△3,976
未払金の増減額（△は減少）	56	△106
未払費用の増減額（△は減少）	847	919
未払消費税等の増減額（△は減少）	△166	77
その他	△51	21
小計	△505	△2,836
利息及び配当金の受取額	27	25
利息の支払額	△0	△0
災害損失の支払額	—	△387
法人税等の支払額	△3,181	△2,993
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,659	△6,192
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	500	—
有形固定資産の取得による支出	△1,952	△2,492
敷金及び保証金の差入による支出	△294	△449
敷金及び保証金の回収による収入	216	312
その他	△86	△134
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,616	△2,763
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△1,659	△1,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,659	△1,603
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	13
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△6,929	△10,545
現金及び現金同等物の期首残高	26,200	26,151
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,270	15,605

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

